

(読者のページ)

学生からの提言：パート2

～学会へ行こう！！～

金沢大学大学院医学系研究科 真田研究室 森岡 茂晃、田中利恵

morioka@sanadalab.com

はじめに

学会に参加して、2年余りになる。まだまだ初心者だが、その短い期間だけでも多くのことを経験、勉強することができた。学会に参加することは、いいことづくしと言える。それゆえ、私と同じ学生にどんどん学会に参加してもらいたい。しかし、「そんなこと言っても“学会”なんて。。。」と思っている学生や「確かに行ってみたい気はするけど。。。」と思って学会に対して抵抗感のある学生もいると思う。実際に自分もそうであったし、そういう友達を多く見てきた。私も含めて友達も今は学会に入り、充実した学生生活を送っている。この記事で、その不安を少しでも取り除けるように学会情報を書いていこうと思う。そして、私の書いたことが本当かどうか、学会に足を運んで体験してもらいたい。

学会に入るまで

どういきっかけで学会にはいるの？

どのようなきっかけで学会に入っていくのか。それは人によって様々である。私の場合は、自分の学校で学会が行われた時に、そのバイトをしたことがきっかけであった。そして、バイトの合間に様々な研究発表を見る機会があった。発表内容は、正直書くと難しくよくわからなかった。しかし、少しであっても勉強できたし、その場の雰囲気や活気を感じることができた。そして「おもしろい、ここに参加したい」、「いつかちゃんと理解できるようになり、自分が発表するという立場になりたい」と思った。その後、すぐに学会に入会して今では時間とお金の融通がきく限り、様々な学会に参加している。それほど、学会は面白いところである。興味のある学生には、ぜひ参加して欲しい。

他にも様々なきっかけで、皆学会に入会してくる。例えば、「学会とはどんなところか興味があったから」、「放射線技術科学の最先端を知りたいから」というものから、「友達に誘われて」、「自分の学校の先生って学会に名前が出ているけどどんなことしてるんだろう？」というものまである。どのような動機であれ、学会に参加した後は、「すごい!」、「来て良かった」、「僕もがんばろっと」などポジティブな反応が皆の口から出てくる。動機が違っても結果的に感じることは同じなのであ

る。「何故にそうかんじるのか？」と思われるかもしれない。また、「いろいろ学会があるけど、どれに参加すれば？」とも思うかもしれない。まずどんな学会があるのか、そしてなぜそのように感じるのか書いていこう。

どんな学会に参加するのが良いのか？

学会といっても、発表内容や規模など様々である。大きく3つぐらいに分けてみた。

- ① 毎年4月に行われる日本放射線技術学会総会やアメリカで毎年11月末に1週間をかけて行われる北米放射線学会（RSNA）など規模の大きい学会。
- ② ①ほど大きくないが、中規模の学会。（JAMIT、MII など）、自分の地域で行われる学会、部会（中部や近畿など）。
- ③ より専門的な研究会やセミナー（CADセミナー）。

簡単に分けると上のようになるだろう。どれもそれぞれの特徴がある。例えば、①のような大きな学会では、本当に学会の大きさに驚かされる。発表内容も多くの分野で多くの発表がされている。それは、自分の興味のある分野の発表が見つからないことはないといえる。このような大きな学会では、研究発表だけでなく、私のように新規参入者やもう一度復習したい方をサポートしてくれるリフレッシュコースや研究会、そして先生方の講演会、討論会など盛りだくさんになっている。お昼ご飯がついたランチョンセミナーもある。さらに、大きなホールを貸切って行われる機器展示もある。最先端の技術が投入された機器が各企業から出品され、その分野での力を示すようにずらりと並んでいる。学会会場で研究を、機器展示でその研究が裏打ちで社会に出てきた姿〔機器〕を見ることができ、それは放射線技術が世の中に出るまでの流れを見るような感じである。

②は、分野がしぼられてより専門的な学会になる。そこには、様々な分野からの先生方や発表者が来ており、それぞれの視点による発表を聴くことができる。普段は同じ分野の人と過ごしているだけに、視点の違いはとても新鮮さを感じさせられ、勉強になる。

③は、研究会やセミナーであり、発表を聴くというよりは、自分自身が何かの研修をするという感じになる。実際に、CADセミナーは、参加者皆でプログラミング講習会を受ける。3から4人あたりに1人の先生がつき、プログラムを習うという感じである。家庭教師について勉強するような形なので、集中的に勉強できて、とてもよい。

学会の違いは、このような感じになる。これを参考に各々自分に合うと思われる学会に参加してみたい。



(社) 日本放射線技術学会のマーク

学会参加すると

学会に参加した後には、学会の大きさに関係なく、多くのことを学び頭の中が飽和状態になったように感じる。また、「もっと理解できるように勉強しなければ」とも感じる。それは、モチベーションに変わり、その後の授業、勉強、研究に意欲をもたらしてくれる。また、今まで学校で学んだことが整理できる機会にもなり、いままで頭の中でばらばらであった事がまとまり、その後の勉強もしやすくなる。

それだけじゃない！！

学会に参加すると、上記のようなメリットがある。しかし、実はそれだけではない。学会には、学会終了後に、懇親会やお食事会などがある。そこでは、多くの先輩方や他校の学生に会うことができる。先輩方には、学校の先生、技師の先輩、企業の方など様々な分野でバリバリ活躍されている方々である。その先輩方から、研究の話、病院での話、企業の話など多くのアドバイスをいただける。例えるならば W 杯で活躍するサッカー選手に、シュートやドリブルの仕方を手取り足取り優しく教えていただけるという感じである。なかなかない機会でしょ？これは、学会参加の大きなメリットでもある。そのほかにも、学会に入会すると、学会誌が毎月送られてくる。その中には、論文、ノート、学会や研究会、セミナーなど多くの情報が載っており、勉強や情報収集には欠かせない。学会誌で情報を集めて、新たに学会に参加するという循環になる。

最後に

これを読んで学会に行きたくなくなったかな？もし行く気になったら、持っていたら必ず役に立つものがある。名刺である。先生方、企業の方、学生同士で知り合っても、その時お互いの連絡先などはなかなか聞きにくい。そのようなときにとても役に立つ。ぜひ、名刺を作って学会に挑んでほしい。名刺を作るには、フリーソフトと電気屋さんで買える名刺用の紙でプリントアウトしてもいいし、名刺屋さんに頼んでもいい。自分でつくるなら、100枚で500円くらい。名刺屋さんに頼むなら100枚で5000円くらいである。下にあるのが、私の名刺で業者に頼んだものである。ネット上でデザインを選び、支払いもネット上でできた。



学会に参加することは、多くのメリットがある。一言で言うなら、「単調な学生生活に潤い、活気をもたらしてくれる。」となる。ぜひ、少しでも興味のある学会に足を運んでみてもらいたい。担当教官のかばん持ちでもいい。その経験は、あなたの新たな大きな一歩の始まりになるだろう！

You Only Live Once, Let's Give It A Try!!

追記

2002年日本放射線技術学会誌 August 2002号に私の日本放射線技術学会総会体験記が載っているのでそれも参考にしてください。

この記事に関して

このたび、学生を対象としてこの記事を書かせて頂きました。それゆえ、適切でない表現もあると思われます。その点は、ご了承頂きたいと思ひます。また、先生方にこの記事を少しでも学会に興味のある学生に渡して頂ければと思ひます。よろしくお願ひ致します。